

2 年間のステロイド使用中止後に全身の落屑と浸出を経て 3～4 か月で安定に向かった 10 代アトピーの経過 (15 歳女性)

症例 ID：001-15-YK6

記録日：2001 年 3 月 23 日

1. 診断・治療前経過

松本医院受診前の約 2 年間、ステロイド外用薬と漢方薬を併用していました。ステロイドを自己判断で中止すると、全身の乾燥、皮膚のつっぱり、痛み、熱感、顔の赤みと腫れが強くなりました。

学校行事後に症状が急激に強くなり、インターネットで松本医院を知って遠方から受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	全身の皮膚症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 2 年間です。
中止時期	松本医院受診前に自己判断で中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
受診前約 2 年間	外用治療	ステロイドと漢方薬を併用しました。
自己中止後	急性悪化	全身の乾燥、痛み、熱感、顔の赤みと腫れが強くなりました。
松本医院受診	治療開始	漢方入浴と外用処置を開始しました。
開始約 1 か月	ピーク	強いかゆみで熟睡できず、全身の落屑と大量の浸出液が続きました。
開始 3～4 か月	皮膚の変化	症状に波はあるものの、全身状態が落ち着いてきました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後約 1 か月間、気が狂いそうなほどのかゆみで熟睡できず、全身の皮膚が大きく剥がれ、大量の浸出液が出た時期です。

5. 困りごと

- ・強いかゆみで約 1 か月間熟睡できませんでした。
- ・全身の落屑と大量の浸出液が続きました。
- ・学校へ通いながら治療を続け、精神的な負担も大きくなりました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は全身の強いかゆみ、落屑、浸出液が続きましたが、約 3～4 か月後には症状に波を残しながらも全身状態が落ち着いてきました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。